

伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、湾中央部で 2 mg/L以下の貧酸素水塊が確認されました。

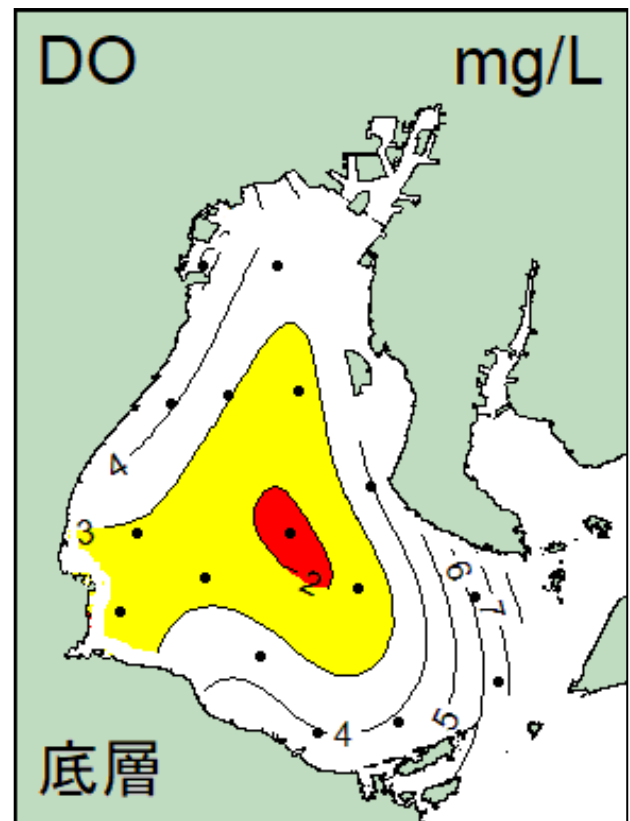
6 月 8 日の調査結果

6 月 8 日の漁業調査船「あさま」の浅海定線観測によると、水温は表層で 20.7～22.2℃、10m で 18.3～19.3℃、底層で 15.5～18.7℃の範囲にあり、表層は平年よりかなり低め、10m は平年並み、底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 8.8～15.6 mg/L、10m で 4.8～6.8mg/L、底層で 1.8～6.5 mg/L の範囲にあり、表層は観測時、湾中央部から湾奥にかけて赤潮プランクトンであるヘテロシグマ・アカシオによる着色域が見られており、平年よりかなり高め、10m は平年よりやや低め、底層は平年並みとなっていました。

今後海水温の上昇等に伴い有機物の分解が進むと貧酸素水塊の範囲が広がるものと考えられます。

今後も貧酸素水塊に注意した操業を心掛けてください。



底層貧酸素水塊分布図